

令和7年産 普通期水稲栽培こよみ

鹿児島地区米・麦・大豆等生産対策協議会
鹿児島地域農政推進会議
さつま日置農業協同組合
鹿児島市園芸作物振興協議会

農薬は使用基準を守って適正に使用しましょう!! 生産履歴記帳で安心・安全な米づくりを!!

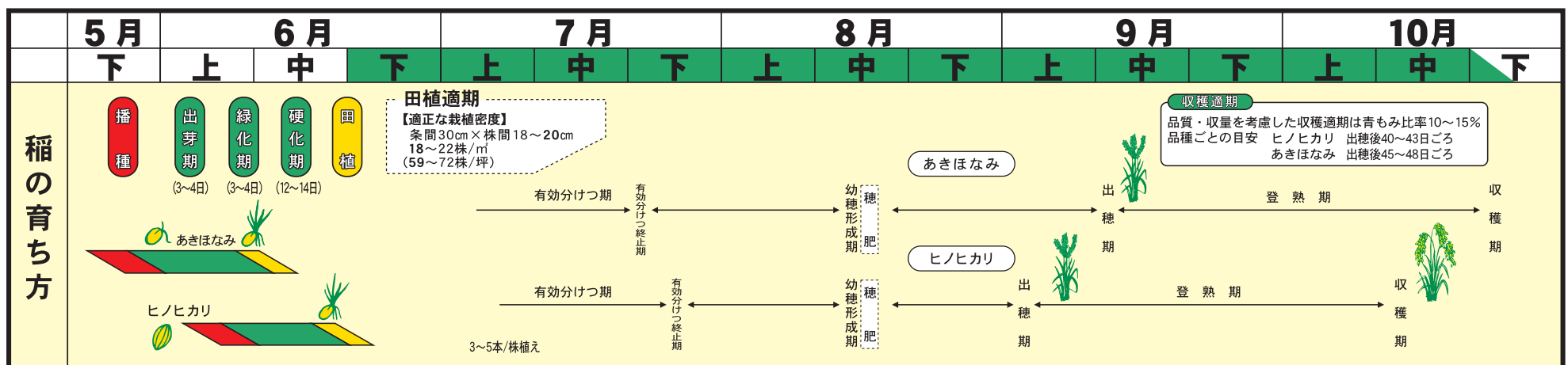
基本技術を守っておいしい米づくりに努めましょう。毎年、種子更新をしましょう。

土づくり

- 地力維持
 - 10a当たり、稲ワラ500kg、又は堆肥1,000kg程度を施す。
 - 年内に完熟堆肥を投入し、必ず耕うんする。
 - 湿田及び地力の高い水田では施用量を少なめにする。
 - 土壌改良
 - 土壌改良資材は、耕起前になるべく早めに投入する。
 - 珪酸質肥料及び含鉄資材を施用する。
- 10a当たり **ケイカル100kg(毎年)** または **ケイテツ300kg(3年に1回)** または **シリカサポート1号 40kg~80kg(毎年)**
- ・珪酸の施用は、倒伏防止や病害虫に対する抵抗力を強める効果がある。

育苗の手順と防除方法

- 床土準備と消毒 (床土: 10a当たり80ℓ~100ℓ)
 - 床土5ℓにタチカシエースM粉剤6~8g・育苗肥料464号15gを混和。
- 育苗箱消毒
 - イチバン500~1000倍液に瞬間浸漬または散布。
- 塩水選
 - うるちは、水10ℓに食塩1.7kgまたは硫安2.5kgを溶かした液で塩水選をして、後はよく水洗いをする。
- 種もみ消毒
 - モミガードC水和剤50g+スミチオン乳剤10mlを水10ℓに溶かし、24時間浸漬し、浸種する。
- 浸種
 - 種: ハトムネ程度に催芽する。
- 播種
 - 1箱当たり 乾燥籾140g~160g 催芽粉180g~210g
 - 苗立枯れ病予防にダコニール1000の1000倍液500mlを灌注する。
- 出芽期: 3日~4日 28℃~30℃
- 緑化期: 3日~4日 昼25℃~28℃
- 硬化期: 12日~14日 昼20℃~25℃



肥培管理

品種	基肥		追肥	
	肥料名	10a当たり施用量	肥料名	10a当たり施用量
ヒノヒカリ	ヒカリエース1号	30~40kg	BBNK77	5~10kg
あきほなみ	水稲一発くん(普通期)	40~50kg		

※湿田では、N成分を2~3割減らす。
※野菜後や肥沃田では、基肥のN成分を3割以上減らす。

品種	出穂前	出穂後
あきほなみ	18日~20日前	20日~25日前
ヒノヒカリ	18日~20日前	20日~25日前

種肥

珪酸カリ又はマルチサポート1号散布 (出穂前30~40日)

珪酸カリ : 30~40kg/10a
マルチサポート1号 : 20~40kg/10a

病害虫防除

◎は必須防除 ○は補充防除

◎箱施薬剤による防除

※いもち病・紋枯病・ウンカ類・コブノメイガ
スクラム箱粒剤 50g/箱 は種時(覆土前)~移植当日

※いもち病・ウンカ類・コブノメイガ
防人箱粒剤 50g/箱 は種時(覆土前)~移植当日

【箱施薬剤の使用上の注意点】
防除効果を高めるため、田植え当日ではなく、田植2~3日前までに育苗箱へ散布する。

○スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除
スクミノン 1~4kg/10a

○葉いもち病・紋枯病が発生したら
ブラシンバリダフロアブル 1000倍 60~150ℓ/10a

【稲こじ病防除上の注意点】
ゴウケツモンスター 3kg/10a
モンガリット粒剤 3~4kg/10a
前年に発生があった場合は必ず防除する。
田植~10日後及び7月下旬~8月上旬が防除適期である。

◎紋枯病・穂いもち病・ウンカ類・カメムシ類・コブノメイガ
ノンプラストレバリダ粉剤DL 4kg/10a

紋枯病の発生: バリダシン粉剤DL 3~4kg/10a
いもち病の発生: ダブルカット粉剤3DL 3~4kg/10a
カメムシ類多発: スタークル粉剤DL 3kg/10a
秋ウンカの多発: トレボン粉剤DL 3~4kg/10a
: エクシードフロアブル 2000倍 60ℓ~150ℓ/10a

発生田から種もみはとらないようにしましょう。

農薬使用基準 (令和6年12月15日現在)

対象	農薬名	使用時期	希釈倍数・使用量	使用回数	
箱施薬剤	いもち病 ウンカ類 コブノメイガ (スクラムのみ紋枯病含む)	スクラム箱粒剤	は種時(覆土前)~移植当日	50g/育苗箱1箱	1回
		防人箱粒剤			
殺菌剤	いもち病	ゴウケツバック	出穂5日前まで但し、収穫30日前まで	小包装(パック)10個(450g)/10a	1回
	紋枯病	ブラシンバリダフロアブル	収穫14日前まで	1000倍	2回以内
	いもち病	バリダシン粉剤DL	収穫14日前まで	3~4kg/10a	5回以内(※10/15)
	稲こじ病 紋枯病	モンガリット粒剤	収穫30日前まで	3~4kg/10a	2回以内
殺菌殺虫剤	紋枯病、いもち病 カメムシ類、ウンカ類 コブノメイガ	ノンプラストレバリダ粉剤DL	収穫14日前まで	3~4kg/10a カメムシ類 4kg/10a	2回以内
	紋枯病、いもち病 稲こじ病 カメムシ類、ウンカ類	ゴウケツモンスター粒剤	出穂5日前まで 但し収穫45日前まで	3kg/10a	1回
殺虫剤	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)	スクミノン	収穫60日前まで	1~4kg/10a	2回以内
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	エクシードフロアブル	収穫7日前まで	2000倍	3回以内
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ カメムシ類	トレボン乳剤	収穫14日前まで	1000~2000倍 コブノメイガ 1000倍 カメムシ類 2000倍	3回以内
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	トレボン粉剤DL	収穫7日前まで	3~4kg/10a	
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	スタークル粉剤DL	収穫7日前まで	3kg/10a	
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 (粉剤のみフタビヤガ含む)	スタークル粒剤 スタークル豆つぶ	収穫7日前まで	250g~500g/10a カメムシ類 250g/10a	3回以内

雑草防除

生育初期 注意 散布後、7日間は落水しない

対象	除草剤名	使用量(10a)	使用時期
水田一年生雑草 一部の多年生雑草 (一発処理)	キマリテフロアブル	500mℓ	移植時・移植直後~ノビエ3葉期(但し、移植後30日まで)
	キマリテ1キロ粒剤	1kg	
	キマリテジャンボ	300g(10パック)	移植直後~ノビエ3葉期(但し、移植後30日まで)
	クサトッタ粒剤	3kg	移植時・移植直後~ノビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)

生育中後期 注意 初中期剤を使用後、単一の雑草だけが発生した場合は、関係機関へお問い合わせください。

対象	除草剤名	使用量(10a)	使用時期
一年生雑草及びキシュウスズメノヒエ 多年生広葉雑草	ウィードコア1キロ粒剤	1kg	移植後7日~ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)
一年生雑草、一部の多年生雑草	クリンチャーバスメ液剤	1,000mℓ	移植後15日~ノビエ5葉期(但し、収穫50日前まで)
イネ科を除く水田一年生雑草、一部の多年生雑草	バサグラン粒剤	3~4kg	移植後15~55日(但し、収穫60日前まで)

※ウキクサ・藻類(アオミドロ)の多い場合は、モゲトン粒剤を2~3kg/10a湛水状態で散布する。

病害虫防除の情報は鹿児島県病害虫防除所ホームページをご利用ください。
【鹿児島県病害虫防除所】URL <https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html> TEL 099-296-6430
【農林水産省ホームページ 農薬コーナー】URL <http://www.maff.go.jp/j/nouyaku>

農薬は周りに配慮し正しく使用!【飛散防止】 お問い合わせは、さつま日置農協、又は農政普及課まで

栽培こよみ